

寿

新年のごあいさつ

あ

けましておめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より村政運営に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、1月1日に石川県能登半島を中心に震度7の地震が発生し、翌日には救援物資を運ぶ海上保安庁の航空機と日本航空機が接触・炎上する痛ましい事故が立て続けに発生しました。また、大雨や台風による被害は全国各地で発生しましたが、特に、9月と同じ能登地方で発生した記録的な大雨による洪水や土砂災害は、復興途中であった人々を再び苦しめることとなりました。犠牲になられた方々には改めて哀悼の誠を捧げ、被害に遭われた方々や避難生活を余儀なくされている方々に対し心からお見舞い申し上げます。

明るい話題もたくさんありました。7月からフランスで開催されたパリオリンピックに、昭和村の元教育長・角田勝美さんのお孫さんにあたる角田夏実さんが出場。女子柔道48kg級で見事金メダルを獲

得されました。角田さんは続く柔道団体戦にも出場し、チームとしては決勝戦で地元フランスに敗れ銀メダルになりましたが、階級が上の選手に代名詞となった巴投げで見事一本勝ちしました。角田さんの活躍で勢いに乗った日本選手団は、海外で開催されたオリンピックでは過去最多となるメダルを獲得。日本中にスポーツの素晴らしさを伝えていただきました。

話題を村内に向けますと、令和3年から始まった新庁舎建設工事ですが、3月末に第2期工事が完了し、計画していた全ての事業が無事に終了いたしました。60台以上の駐車スペースが庁舎前に整備され、既存の西庁舎を防災用備蓄庫や書庫として活用します。また、期日前投票所や感染症対策として職員が他の職員と接触せずにオンラインで業務ができるように改装いたしました。

そして、5月31日から村長に就任しましたが「どこよりも子育てしやすい村づくり」「産業がさらに輝く村づくり」「安全・安心・ホットな村づくり」を3本の柱と、忙しく働かれている村民の皆様が余暇を楽しみ、文化・芸術に触れあい、幸福を感じられる村

づくりを目指します。「住民主体の村政」を実現させるため、村民の声をしっかりと聴き、人と人とのつながりを大事にして行きたいと考えております。

昭和村には赤城山や河岸段丘が織りなす豊かな自然と長井坂城趾など歴史的な価値のある史跡や建造物が多くあります。この素晴らしい昭和村の魅力に住民だけでなく、村外の方々にも積極的に発信していきたい、ぜひ住んでみたいと思われるような村づくりを進めてまいりますので、なお一層のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご健勝と、ご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

昭和村長

高橋 幸一郎

